

本2022年、早稲田サークル文化を創造的に発展させよう！

2・1文連総会を成功させよう！

文連常任委員会(090-2331-4456)

文連臨時事務所 学生会館E839

文連加盟サークル員のみなさん、すべてのサークル員のみなさん、本2022年、早稲田サークル文化をさらに創造的に発展させるために、力を合わせてがんばりましょう。来る2月1日に2021年度後期定例文連総会を開催します。今回の文連総会は、新型コロナ感染拡大のもとでの様々な困難をのりこえ、早稲田サークル文化創造の着実な前進をかちとってきた今秋冬期のサークル活動の意義を文連全体で共有し、これにふまえて本2022年に早稲田サークル文化をさらに創造的に発展させていくための文連の方針と新たな執行部体制を確立する重要な場です。文連加盟サークルの幹事のみなさんは必ずご出席ください。

1 今秋冬期、早稲田文化サークル活動の着実な前進をかちとってきた文連加盟サークル

私たち文連加盟サークルは、今秋冬期、新型コロナ感染拡大のなかでも、日々の練習や稽古、研究を積み重ね、文化サークル活動を着実に前進させてきました。こうして培ってきた力を遺憾なく発揮し、サークル活動の集大成としてのサークル文化諸企画を実現してきました。私たちは、新型コロナ感染拡大のなかで思うように活動ができない・観客の前で演じることができないもどかしさや悔しさをもバネとして、早稲田サークル文化の新たな発展をかちとってきました。この画期的な地平を、私たちは、サークルが団結して、大学当局・学生部による有観客公演の制限などのコロナ対策を理由としたサークル活動規制を緩和（11月15日付けの学生部長名告示）させることをつうじて切り拓いてきたのです。

また、加盟サークル間で協力して、公演情報や劇評、エッセイなどを掲載したサークル交流誌「文化の交差点」を連続的に発行し（11月、12月）、早稲田サークル文化を盛り上げてきました。

2 来る2・1文連総会を成功させよう！

以上の地平にふまえ、本2022年を早稲田サークル文化創造のさらなる飛躍の年としていきましょう。そのために、文連総会では以下の課題をめぐって、加盟サークル間で活発に討議し、来年度の文連の方針を全体で練り上げましょう。

A 22年度の新歓活動を成功させよう！

新型コロナ感染拡大に伴う授業のオンライン化で友人と会う機会が減っているなか、サークル活動は早大

生にとって、仲間との共同実践をつうじて交流を深めることができる・かけがえない場です。私たちは、来る22年度の新歓活動において、早稲田文化サークル活動の魅力を存分に新入生に訴え、新たな仲間として文連加盟サークルに迎え入れていきましょう。そのために、感染拡大のなかにあっても十分な新歓活動がおこなえるよう大学当局・学生部に保障させましょう。

文連新歓パンフレット「文化運動vol.60」を今年も発行します。サークルインタビューやサークル紹介ページが充実している「文化運動」は新入生に大好評で、文化系サークル探しに大いに活用されています。今年も加盟サークル間で協力して作成・配布しましょう。

B サークル補助金の大幅増額をかちとろう！

困窮する学生へのさらなる経済支援・学費減免を直ちにおこなうように求めよう！

コロナ対策を理由とした学生会館練習室の人数制限・閉館時間の繰り上げによって、外部の練習場所を確保せざるを得ないサークルにとって、練習場所代の負担は深刻な問題です。練習場所代への補助を現行のサークル補助金とは別枠で支給すべきです。昨年からは有観客公演実施に必要なPCR検査代などが補助金支給対象となりましたが、すでに補助金上限額に達しているサークルは受給することができません。こちらも現行の



新入生に宣伝活動するサークルで
にぎわう大隈銅像前(昨年4月)



サークル補助金に上乗せして支給すべきです。そもそもサークル補助金の上限額が30万円とは少なすぎます。しかも事後支給のために事前にサークル員が自己負担しなければなりません。サークル補助金上限額の大幅引き上げ・事前支給を求めよう。サークル活動の経常費にたいする補助金をすべてのサークルに一律で支給するように求めよう。

コロナ・パンデミックによって私たちの父母が職を失ったり・賃金がカットされたりする家庭が増えています。私たち自身のバイトのシフトも削減され、大幅な収入減に苦しんでいる早大生も少なくありません。そのうえ、昨今の生活必需品の価格高騰が、私たちの生活を直撃しています。経済的理由で休学・退学を余儀なくされる仲間を一人たりとも出さないために、早大当局は再度の給付金の支給など、困窮する学生への緊急支援・学費減免を直ちにおこなうように求めよう。

C サークル活動場所の感染対策の充実を求めよう！ 学生会館の人数制限・閉館時間繰り上げを緩和させよう！

オミクロン株による感染が拡大するなかで、今後もサークル活動を継続していくために、サークル活動場所への感染対策を充実させましょう。大学キャンパスのラウンジと同様にアクリル板の設置やサーキュレーターの導入など、換気機能や飛沫対策の強化を求めよう。

専門家の実験によって楽器演奏ではほとんど飛沫は飛ばず、合唱でも必要な対策をとれば通常の練習が可能であることが実証されています。サークル活動の実情に見合ったかたちで、現行の人数制限や閉館時間繰り上げを緩和するように求めよう。サークル活動場所の不足を解消するために、空き教室を開放させよう。

D 「言論・表現の自由」や「平和主義」を脅かす憲法改悪にサークルから反対の声をあげよう！

私たちの文化サークル活動にとって、憲法に規定された「言論・表現の自由」「平和主義」はなくてはならないものです。ところが自民党は、1/17からはじまる通常国会に、戦後初めて「憲法改正」原案を上程しようとしています。政府・自民党が憲法に創設しようと

している「緊急事態条項」は、首相の独断で「緊急事態」の名のもとに「言論・表現の自由」をはじめとした国民の権利を制限できる強大な権限を首相に付与するものです。自由な言論・表現活動を根底から覆す動きを、文化理論創造に携わるものとして看過できません。

しかも、岸田政権・自民党は「緊急事態条項」創設を突破口として、「戦力不保持」「交戦権の否認」を謳った現行憲法9条そのものの改悪に手を付けようとしています。憲法に規定された「平和主義」を脅かすきわめて危険な動きです。文連加盟サークル有志で結成されている「とめよう！改憲 文連の会」は、憲法改悪に反対する文化人の方と連帯して、サークルから反対の声を上げるためのとりくみをおこないます。

E 早稲田唯一のサークル連合体・文連の団結を強化しよう！

私たちは文連のもとに団結して、大学当局・学生部によるコロナ対策を理由としたサークル活動規制の緩和をかちとり、コロナ・パンデミック下でもサークル活動を活発に繰りひろげてきました。全国の大学でも学生自治会や文連が主体となって、対面の学園祭やサークル活動をかちとっています(琉球大学や鹿児島大学、国学院大学など)。一方で文連のようなサークルの団結の拠点がなく、あるいはあっても大学当局の御用団体と化している大学では、なおも学生会館が閉鎖されていたり、対面でのサークル活動が厳しく制限されたりしています。

うちつづく新型コロナ感染拡大のもとで、サークル間の交流が失われ、サークルが個々バラバラにされがちなかだからこそ、早稲田サークル文化を創造的に発展させていくためには、早稲田唯一のサークル連合体・文連の団結をいっそう強化することが大切です。そのために、来る文連総会で来年度に向けた文連の活動方針をみんなで練り上げ、早稲田サークル文化の未来を切り拓く新執行部体制を確立しましょう。加盟サークル員有志で、「文連総会を成功させる会」を結成し、加盟サークル員同士で協力し合い、文連総会の準備を進めましょう。本2022年、早稲田サークル文化創造のさらなる前進をかちとるために、すべてのサークル員は力を合わせてがんばりましょう。文連常任委員会はその最先頭で奮闘する決意です。

2021年度後期定例文連総会

2月1日(火)

16:15開場 16:30開会

学生会館W406-407